

Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936

Novartis

Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936

Novartis Pharmaceuticals Corporation

© Novartis Pharmaceuticals Corporation 2018. 12812, 2503-2624, 2018

Novartis

Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936

Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936
Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936

© Novartis Pharmaceuticals Corporation 2018. 12812, 2503-2624, 2018

Novartis

Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936
Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936
Novartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, NJ 07936

Novartis¹

I spontaneous urticaria

1. acute spontaneous urticaria 6 weeks

2. chronic spontaneous urticaria 6 weeks

II inducible urticaria*

1. allergic urticaria

2. FDEIA

3. non-allergic urticaria

4. aspirin-induced urticaria/urticaria due to intolerance

5. physical urticaria/mechanical urticaria/cold urticaria/solar urticaria/heat urticaria/delayed pressure urticaria/aquagenic urticaria

6. cholinergic urticaria

7. contact urticaria

III angioedema

1. idiopathic angioedema

2. inducible angioedema/vibratory angioedema

3. bradykinin mediated angioedema

4. hereditary angioedema/HAE

IV urticaria associated diseases

1. urticarial vasculitis

2. urticaria pigmentosa

3. Schnitzler

* 2 weeks 6 weeks chronic urticaria

I.

II.

III.

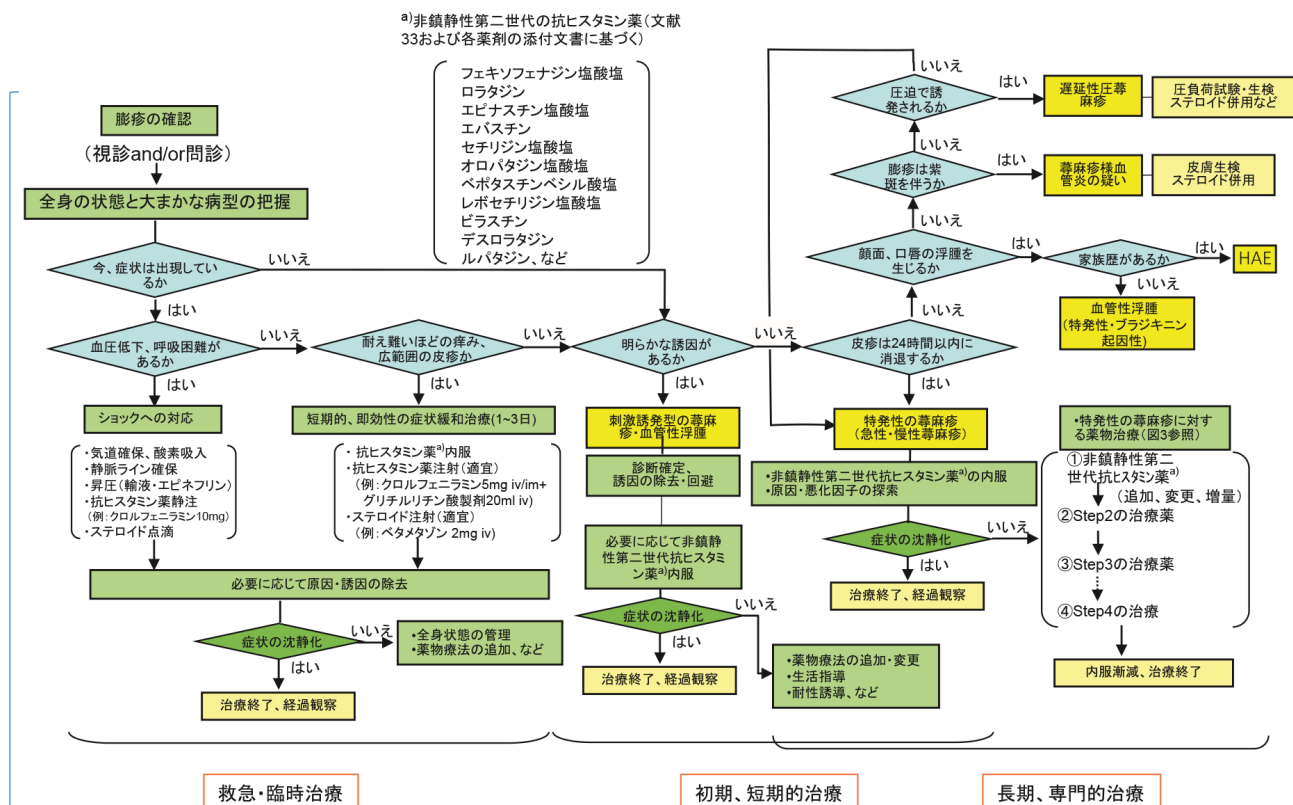
IV.

- □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
- □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□
- □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

- UAS7 □ Urticaria Activity Score 7 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
- CU-QoL □ Chronic Urticaria Quality of Life Questionnaire □ □ □ □ □ □ QOL □ □ □ □
- AAS □ Angioedema Activity Score □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
- AE-QoL □ Angioedema Quality of Life Questionnaire □ □ □ □ □ □ QOL □ □ □ □
- UCT □ Urticaria Control Test □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

診断・治療手順



全身状態把握のための検査 血算、血液ガス分析、CRP、一般生化学検査など	病歴に応じて、病型診断およびI型アレルギーに必要な検査 誘発試験、皮膚テスト、抗原特異的IgEの検出など	原因・悪化因子探索のための検査 内容は、個々の症例の病歴、身体所見などにもとづく
--	--	--

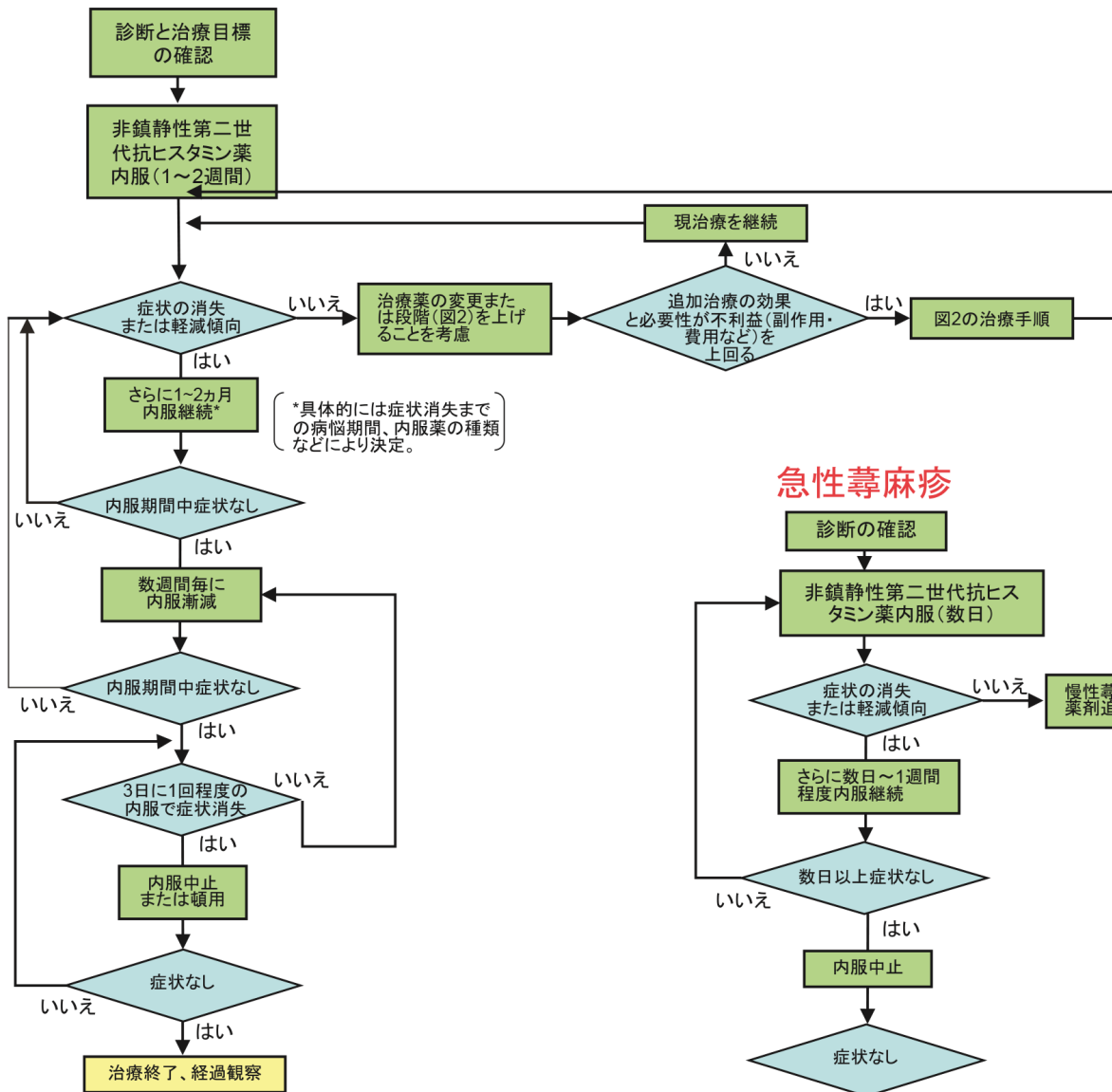
重症度 レベル	症状	抗ヒスタミン薬以外の治療を追加する必要性	その後の治療目標
5	社会生活ができない	高い	レベル4以下までの 症状の制御
4	支障はあるが 何とか生活できる	QOL、治療の副作用とその 可能性、費用、患者の好み などに基づく	治療薬による症状の消失または 気にならない程度までの軽快
3	不快ではあるが 我慢できる		
2	症状はあるが 気にならない		
1	無症状		治療薬の漸減～中止

©XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2018. XXXX. 128×12, 2503-2624, 2018

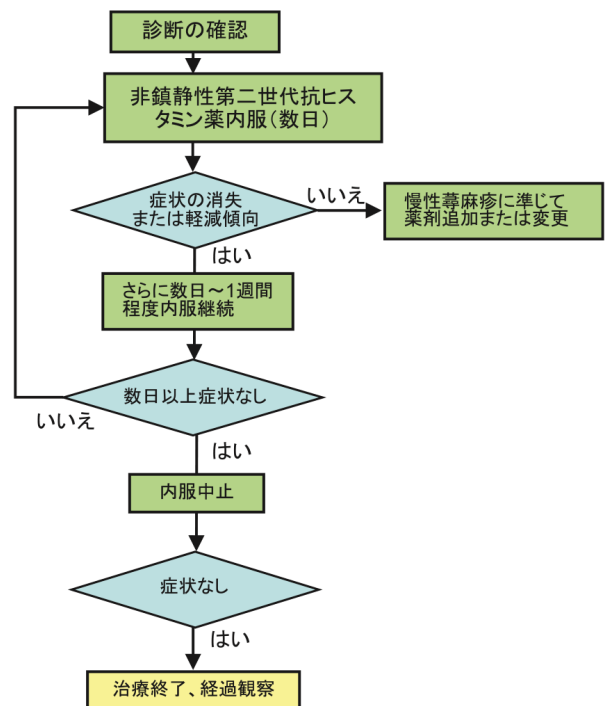
XXXXXXXXXXXXXXXX

Image

慢性蕁麻疹



急性蕁麻疹



© 日本皮膚科学会 2018. 128 12, 2503-2624, 2018

2018

蕁麻疹診療ガイドライン2018のポイント

今回の改定の概要¹⁾

2011年版のガイドライン作成時以降に発表されたエビデンスを検証し、グローバルガイドライン（国際ガイドライン²⁾）との整合性を取るとともに、わが国の現状を踏まえ、また、医師、患者および医療関係者がどのように蕁麻疹を捉え、問題を解決するために行動すべきかを示すことを目指して作成された。

今回の改定の特徴³⁾

蕁麻疹診療に関する情報を実用性の観点からより系統的に整理し、より洗練した行動指針を明示した。

具体的な変更点³⁾

1. 主たる病型の分類の微修正
2. 治療アルゴリズムの改定
3. 蕁麻疹の病型毎の治療法のエビデンスと推奨度の整備
4. 19の基本的行動指針の提示
5. 「評価」の項の新設

1) 改定委員会報告：蕁麻疹診療ガイドライン2018。J Clin Med. 2018; 7(12): 1794. 2018.
2) Kircanski L, et al. Allergy. 73:137-149, 2018. 3) 本論文。7:137-149, 2018.

1. 11111111111111111111

1111

1111

2. 「基本的行動指針」の提示

蕁麻疹診療ガイドライン2018における 「基本的行動指針」の新設

- 診療ガイドラインとは、「診療上の重要度の高い医療行為について、エビデンスのシステマティックレビューとその総体評価、益と害のバランスなどを考慮して、患者と医療者の意思決定を支援するために最適と考えられる推奨を提示する文書¹⁾」と定義されている²⁾
- 「具体的な医療現場における行動のための意思決定に資することが必要²⁾」との考察から、「基本的行動指針」の章を新設した
- この章は、臨床現場における行動の決定を支援することを目指して作成され、「～する」「～てはならない」「～ても良い」といった語尾を持つ19の推奨文により構成されている²⁾

2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

□□□□

3. 推奨度とエビデンスレベル

蕁麻疹診療ガイドライン2018の推奨度とエビデンスレベル

推奨度	説明	推奨度とエビデンスレベル	臨床的意義
1: 強い推奨 (recommend)	推奨された治療によって得られる利益が大きく、かつ、治療によって生じる負担が軽微と認められる。	1A	根拠のレベルが高く、治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる害や負担が軽微と認められる。したがって、医師は、推奨した治療を行うことが勧められる。
2: 弱い推奨 (suggest)	推奨した治療によって得られる利益の大きさは不確実である、または、治療によって生じる害や負担が軽微と認められると考えられる。		
エビデンスレベル	研究デザイン	説明	
A (高い)	- ランダム化比較試験の結果が一致し、かつ、多数の一致した結果のランダム化比較試験 - 無作為化比較試験のメタアナリシス	結果はほぼ確実であり、今後研究が新しく行われても結果が大きく変化する可能性は少ない。	根拠のレベルは高い (B)、または、とても高い (C)。治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる害や負担が軽微と認められる。したがって、医師は、推奨が十分でないことを理解したうえで、推奨した治療を行うことが勧められる。
B (中)	- ランダム化比較試験の結果が一致し、かつ、少数のランダム化比較試験 - 無作為化比較試験 - 多数の一致した結果のランダム化比較試験や観察研究	結果を支持する研究があるが十分ではないため、今後研究が行われた場合に結果が大きく変化する可能性がある。	根拠のレベルは低い (B)、または、とても低い (C)。治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる害や負担が軽微と認められる。根拠のレベルは、高い (A)、低い (B)、とても低い (C)。
C (低い)	少数のランダム化比較試験や観察研究、症例報告、専門家の意見	結果を支持する確度の低い研究がない。	推奨した治療によって得られる利益の大きさは不確実である、または、治療によって生じる害や負担が軽微と認められる。根拠のレベルは、高い (A)、低い (B)、とても低い (C)。

(推奨度とエビデンスレベルは本ガイドライン2018年版の標準に準拠)

*1: ランダム化比較試験を含む

*2: ランダム化比較試験以外の研究、または、観察研究、ランダム化比較試験や観察研究として評価したものを指す

このガイドラインは、最新の科学的知見に基づいて作成されたものであり、最新の科学的知見に基づいて更新されるものと見做す。

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

□□□□

4. 両型分類の実施方法

蕁麻疹の主たる病型 ¹⁾					
急性	慢性	アレルギー性	非アレルギー性	原因不明	その他
急性アレルギー性	慢性アレルギー性	慢性非アレルギー性	慢性原因不明	慢性その他	

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

1. 急性蕁麻疹 acute spontaneous urticaria (発症後6週間以内)
2. 慢性蕁麻疹 chronic spontaneous urticaria (発症後6週間以上)

II. 刺激誘発型の蕁麻疹 (特定刺激ないし自明により皮膚を刺激することのできる蕁麻疹) inducible urticaria²⁾

- アレルギー性の蕁麻疹 allergic urticaria
- 食物依存性運動誘発アナフィラキシー FDEIA
- 非アレルギー性の蕁麻疹 non-allergic urticaria
- アスピリン蕁麻疹（不耐症による蕁麻疹） aspirin-induced urticaria (urticaria due to intolerance)
- 物理性蕁麻疹 physical urticaria（機械性蕁麻疹 mechanical urticaria、寒冷蕁麻疹 cold urticaria、日光蕁麻疹 solar urticaria、加熱蕁麻疹 heat urticaria、遅発性圧蕁麻疹 delayed pressure urticaria、水蕁麻疹 aquagenic urticaria）
- アトピー蕁麻疹 cholinergic urticaria
- 接触蕁麻疹 contact urticaria

III. 血管性水肿 angioedema

1. 特発性血管性浮腫 idiopathic angioedema
2. 誘発誘発型の血管性浮腫 inducible angioedema (振動血管性浮腫 vibratory angioedema を含む)
3. ブラジキンに起因性の血管性浮腫 bradykinin mediated angioedema
4. 遺伝性血管性浮腫 hereditary angioedema (HAE)

IV. 荨麻疹関連疾患 urticaria associated diseases

1. 蕁麻疹血管炎: urticarial vasculitis
2. 色素性蕁麻疹: urticaria pigmentosa
3. Schatzkin 假性蕁麻疹 (人工性) 皮膚病與蕁麻疹假病

* 加算率の算出については、本誌第11号「加算率の算出方法」を参照してください。

4. □□□□□□

4. □□□□□□

□□□□

□□□□

□□□□□□□□

□□□□□□

□□□□

□□□□□□□□

□□□□

PFS□□□□

00000000

00000000000000

000000

00000000000000000000

Image



Source URL: https://loadtest.pro.novartis.com/products/xolair/urticarial/guideline_01